

令和6年度第3回

浜松市障がい者自立支援協議会企画会議会議録

1 開催日時 令和6年9月26日（木） 午前10時00分～正午

2 開催場所 浜松市役所 3階 32会議室

3 出席状況

エリア連絡会名		所属	出席者氏名
中エリア連絡会		中障がい者相談支援センター	藤川 晴海
		中央福祉事業所社会福祉課	成瀬 香
東エリア連絡会		東障がい者相談支援センター	平野 明臣
		中央福祉事業所（東）社会福祉担当	中谷 知由
西エリア連絡会		西障がい者相談支援センター	袴田 章彦
		中央福祉事業所（西）社会福祉担当	杉森 泉
南エリア連絡会		南障がい者相談支援センター	大場 拓弥
		中央福祉事業所（南）社会福祉担当	小枝 信幸
北エリア連絡会		北障がい者相談支援センター	金森 勇人
		浜名福祉事業所（北）社会福祉担当	梶田 和彦
浜北エリア連絡会		浜北障がい者相談支援センター	大柳豆 勇太
		浜名福祉事業所社会福祉課	島田 佐栄実
天竜エリア連絡会		天竜障がい者相談支援センター	那須 将司
		天竜福祉事業所社会福祉課	杉本 太司
医療的ケア児等支援コーディネーター			阿部 祥美
			高 真喜
事務局	障がい者基幹相談支援センター		後藤 翔一朗
			玉木 祐次郎
			野島 和樹
			小杉 茉巳
			本宮 早奈映
	障害保健福祉課	企画・相談グループ	大庭 靖史
			白柳 麻衣子
			鈴木 史哉

4 議 事 内 容

- (1) エリア活動中間報告について
- (2) 自立支援協議会市全体会の振返り
- (3) 専門部会の進捗状況報告について
- (4) 地域生活支援拠点登録について

5 会議録作成者 障害保健福祉課企画・相談グループ 鈴木

6 記 録 の 方 法 発言者の要点記録
録音の有無 無

7 会 議 記 録

- (1) エリア活動中間報告について
各エリア資料をもとに説明。
ポイントは以下の①～④
- ①障がい者の重度化・高齢化・親なき後を見据えた支援体制の検討について
 - ②地域課題の抽出と課題に向けた協議について
 - ③地域ネットワークの構築について
 - ④社会資源の改善について
- 中エリア
- ①・今年度からエリア体制検討ワーキングを開設。
 - ・中エリアとしてどのようなエリア体制が望ましいのか検討していく。
 - ②・地域課題検討部会にてエリア内の事例検討を行い、多機関で連携した支援体制づくりを目指す。
 - ・こどもの部会にてこどもに関わる分野の課題を抽出。アセスメント事例検討を行う。
 - ③・年に1回ネットワーク会議を行い、関係機関同士の連携を強化
 - ・グループホーム連携促進プロジェクトにて勉強会や交流会を実施
 - ④・人財啓発部会にて当事者理解を深める活動を実施
- 東エリア
- ①・日中支援型 GH 意見交換会にて、意見交換を行い緊急時の受け入れについて検討した。
 - ・ケース対応及び専門性の向上に向けてエリア連絡会から出前講座と事例検討を行う。
 - ②・相談支援意見交換会を実施。意見交換会にて困難ケースについて共有を行う

- ・子どもアセスメントツール啓発事例検討会にて事例検討会を実施し、アセスメントについての理解を深める機会を設けるとともに、実際の支援につなげる。
- ③・ネットワーク会議にて、エリア内のつながりを深めるため、当事者から発言をしてもらう。
- ④・短期課題検討部会余暇支援ワーキングにてグループ移動支援の利用を経て余暇の充実をはかる取組みを実施。

○西エリア

- ①・強度行動障害や精神障害の関わり等の課題に対して対応できるよう生活に関わる部会の立ち上げを検討中。
- ②・外国人への生活支援への対応のため、部会の立ち上げを検討中。
- ③・5/23 にエリア構成員の交流会を行った。施設、事業所等から 42 名が参加し交流することができた。
- ④・部会等での課題に対して議論を行う中で、改善方法を検討していく。

○南エリア

- ①・日中サービス支援型 GH 評価を通し、緊急時の受け入れ態勢が限られるという課題に対し、対応方法を検討する。
 - ・グループホームの人材育成、近接エリアとの連携による緊急時の受け入れ体制の構築、精神科病院からの移行、グループホームを利用したひとり暮らし体験機能の拡充を検討予定。
- ②・当事者やその家族の感じている生活での困りごと等について意見交換を行う。
- ③・地区部会にて啓発活動の取組みを通して地域住民の障がい理解を深め、地域ネットワークの構築を目指す。
 - ・課題として、支援機関の間ではネットワーク構築がされつつあるが、地域住民とのネットワークは十分とは言えない。
- ④・エリア連絡会全体会を通して、次年度のエリアでの社会資源の改善につながる取組みを検討していく。

○北エリア

- ①・事例検討部会にて重度化、高齢化、親なき後を見据えた支援体制の検討を視点にいった検討やケース選定を行う。
 - ・強度行動障害児支援ワーキングにてみをつくし特別支援学校の生徒を対象に、予防支援について検討をしていく。
 - ・日中サービス支援型 GH との意見交換を行い、地域生活支援拠点等の役割の認識と共有を図る

- ②・事例検討部会にて過去に行った事例ケースのモニタリング検証を行い、課題を精査する。
 - ・事例検討部会の活動目的について、エリア内の事業所に伺い、説明と事例提供の依頼をし、地域課題の抽出につなげる。
 - ・こども部会にて北エリア内の小中学校や事象所等にアンケート調査を行い、研修を企画する。
 - ・北エリアでつながろう部会を通して、当事者と余暇活動について地域とつながる場の企画。
 - ・強度行動障害児支援ワーキングにてエリア内の事例検討を行い、エリア全体に報告を行う。
- ③・こども部会にて事業所、教育機関、幼保へのアンケート、ヒアリングを実施予定。切れ目のない支援体制構築を目的に研修会参加機関等の連携強化を図る。
 - ・事例検討部会を月に 2 回行うことで、知識、経験の共有とともにネットワークの構築を図る。
 - ・日中サービス支援GHとの意見交換では近隣住民、民生委員や地域とのつながり強化を図る。
- ④・北エリアでつながろう部会、強度行動障害児支援ワーキングを通じ、インフォーマル資源とつながる機会の設定

○浜北エリア

- ①・相談支援部会にて、事例検討会や日々の支援に困っているケースを共有しつつ、サービスや社会資源等を検討していく。
 - ・相談支援部会にて解決しきれない課題について、協議すべきとハンさんされた地域課題に対して、課題検討部会にて協議を行う。
- ②・地域課題については、相談支援部会にてケースの吸い上げを行い、事例検討を行う。
- ③・浜北ネットワーク部会にて情報共有や意見交換会を通じて支援者地震のスキルアップと、ネットワークの構築を行う。
- ④・地域生活支援拠点等の整備を意識した支援体制づくりを行うため、課題検討部会にて協議を行う。

○天竜エリア

- ①・エリア全体会、日中サービス支援GH評価を通じ、個別の課題や地域課題の解決に向けた協議を行う。
 - ・公的な社会資源の不足という地域課題について協議する。
 - ・浜北エリアと合同で相談支援部会を開催し、日々のケースについて事例検討を行う。

- ②・相談支援部会にて、地域課題の抽出を行う。特に公的な社会資源の不足が大きな課題である。
- ③・地区部会を通し、関係者が集う機会を設け、情報共有や支援者自身のスキルアップを図る。
- ④・課題検討部会にて、既存の資源を生かし生活支援体制の構築を検討する。

(2) 自立支援協議会市全体会の振返り

- ・企画会議の位置づけについて質問が挙がった点について、全体会までの議案の流れの示し方を協議し、わかりやすい形に変更できるよう検討する

【ワーキングについて】

○こども部会

- ・9月12日にこども部会第2回を実施した。会議録については、別途共有していく。
- ・サポートかけはしシートワーキングとしては全3回を予定していたが、2回のワーキングでまとめることができたため、全2回で終了とする。
- ・アンケートを実施したところ、事業所から学校への連絡のタイミングがバラバラであることから、今年度の1月から統一する。

○就労部会

【ワーキングについて】

- ・令和7年10月から就労選択支援が開始する。就労アセスメントの標準化をワーキングで検討している中で、実態調査を行ったところ、複数の事象所から希望があることが分かった。
- ・就労選択支援ワーキングで行った実態調査の内容を10月の就労部会で報告する。

○生活部会

- ・9月30日に生活部会を行う。委託評価のアンケートをもとにQ&Aを作成したため、内容について報告を行う予定。
- ・強度行動障害ワーキングを9月に実施した。議事録については作成中。
- ・防災ワーキングについては10月に第1回が開催できるよう調整中。

(4) 地域生活支援拠点等の登録について

- ・要綱は現在、調整を行っている。
- ・事前協議を行って、登録という流れとなる。

・内容について不明点がある場合は、資料を確認し、連絡してほしい。

次回企画会議

日時：11月28日（木）10時～

会場：32会議室